

# 熊本県苓北工業用水道事業の紹介

## ○事業の主旨

苓北工業用水道事業は、天草下島北西部の苓北町に立地する九州電力(株)苓北発電所への給水、及び閉山後の産炭地域の振興のための産業基盤整備として、実施された。

## ○事業の経緯

昭和55年、九州電力(株)が苓北町に大型火力発電所建設計画を発表し、発電所の運転に要する水の確保のため、本県に対して、ダム建設による水源開発の要望が出された。

九州電力(株)からのダム建設要望に併せ、苓北町から、ダム建設にあたっては、水道及び農業用水をも利水目的とする多目的利水ダムとしての建設を県において施工するよう陳情がなされた。

九州電力(株)及び苓北町からの要望、陳情を受け、苓北火力発電所の立地及び天草産炭地域の振興のための工業用水の確保を目的として、工業用水道事業の県営での実施、及び苓北町との共同事業として多目的利水ダム建設を決定した。

昭和58年、都呂々ダム建設に関する協定書を県と苓北町で締結し、昭和62年、ダムの堤体工事に着手し、平成2年3月に完成、同年4月から苓北町の簡易水道及び農業用水への通水を開始した。

平成5年8月から、工業用水としての給水を九州電力(株)苓北発電所他1社に開始し、その後、国道の改良工事に合わせて配水管の敷設工事を進めた結果、平成15年度末までに、苓北町が造成した内田工業団地まで給水が可能となった。

## ○ユーザーの概要

(平成20年10月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
電力	1	7,000
その他	1	60
合計	2	7,060

## ○施設の概要

主要な給水先である火力発電所以外に、町内の工業団地への立地企業等にも工業用水を供給するため、計画給水量8,500m<sup>3</sup>/日で建設した。

施設は、水源として都呂々ダムを苓北町（簡易水道事業、農業用水事業）と共同で建設し、都呂々川に設置した取水口から取水された水は、沈砂池を経て、導水ポンプにより、現在のところ、特別な浄水処理等は行わず原水の状態を受水企業へ給水している。

なお、計画中の浄水場建設については、今後の苓北町への企業立地の状況等、工業用水の需要を踏まえながら判断することとしている。

## ○事業の特徴

給水能力8,500m<sup>3</sup>/日に対し、九州電力(株)火力発電所の契約水量が7,000m<sup>3</sup>/日と80%以上を占めるため、発電所の受水タンク水位によりダム貯留水の放流及びポンプ運転の制御を行っている。

町の工業団地に立地した企業は、火力発電所から排出される石炭灰を活用した土木資材の製造を行っており、苓北町では産業廃棄物の有効活用推進の観点から、町発注の公共工事での使用を推進している。

## ○熊本県企業局のホームページ

<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kigyokyoku/index.htm>

給水系統を含む給水区域図

